

集落営農組織を次世代につなげる集落のコメづくりを考える

対象者 甲賀集落営農法人連絡協議会

【普及活動のねらい】

集落営農法人組織を次世代に引き継ぐためにどうすればよいのか、多くの人の意見を効率的に集約することが可能なワークショップ手法の一つである「地域診断」を推進してきました。

話し合いのテーマを、組織を次世代に引き継ぐために重要な要素の一つである、法人の利益の確保をどう図るかに絞り、継続して取り組める水稻の単収向上対策と地域に適したコメ販売の在り方について、法人組織の構成員が納得できる戦略づくりのきっかけとすることを目的として活動を行ってきました。

【普及活動の内容】

実施法人の掘り起こし

甲賀集落営農法人連絡協議会の研修会において、地域診断の目的や事例を紹介するとともに、昨年度、当課で実施した調査研究「水稻単収向上プロジェクト」から、次世代に引き継ぐ法人経営の強化のためにはまず水稻の単収向上を図ることが重要であることを啓発しそのための戦略検討のために「地域診断」の実施が有効であることを説明してきました。

地域診断の実施

「地域診断」では、普及職員がファシリテータを務め、水稻の単収向上と販売額の向上のために、「できること」、「改善すること」、「導入するもの」について意見を出してもらい、出てきた意見をグループ化し、対策関係図を作りました。さらにファシリテータが主導して、グループ化された意見を重要度と実施可能度で順位付けし、法人で取り組む収益向上対策をまとめました。さらにこのまとめを法人の理事会に諮り、対策の合意形成を図りました。



ファシリテータを務める普及指導員



ワークショップのまとめを行う普及指導員

【普及活動の成果】

普及活動の結果、多くの法人組織が水稻の単収向上に向けた取り組みの大切さが理解され、具体的な戦略を検討する「地域診断」を2法人で実施することができました。

「地域診断」実施後の理事会では、法人の収益確保のために、どのような課題があり、やるべきことの順位付けができました。今後当課では、具体的な収益改善にむけ、取組を進める法人に対して、継続した支援を行います。